中央区スポーツ推進ビジョン　体系新旧対照表

【現行ビジョン】中央区スポーツ推進ビジョン

期間：平成29年度（2017年度）～令和８年度（2026年度）

基本理念（めざす姿）　誰もがスポーツを楽しみ、人と地域が輝くまち

基本目標	施策	取組
１　ライフステージ等に応じたスポーツを楽しむ機会の充実	（１）子どものスポーツ活動の推進	① スポーツ教室や大会、ｲﾍﾞﾝﾄ等の開催
		② 幼児期からの運動習慣づくり
		③ 学校での健康づくり・体力づくりの充実、運動部活動等の活性化
		④ スポーツをする機会や場の提供
	（２）成人のスポーツ活動の推進	① スポーツ教室や大会、イベント等の開催
		② 健康・体力づくりの推進
		③ 子育て世代のスポーツ活動への参加促進
	（３）高齢者のスポーツ活動の推進	① スポーツ・健康づくり教室の開催
		② 健康増進につながる運動の普及・啓発
		③ 高齢者が利用しやすいスポーツ環境づくり
	（４）障害者のスポーツ活動の推進	① 障害者がスポーツを楽しむきっかけづくり
		② 障害者スポーツの理解促進・普及啓発
		③ 障害者が利用しやすいスポーツ環境づくり
	（５）スポーツを楽しむきっかけづくり	① 誰もが気軽に参加できるスポーツイベント等の開催
		② 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした気運の醸成
２　スポーツができる場の確保・整備	（１）スポーツ施設の整備・充実	① スポーツ施設の整備・拡充
		② 区民のニーズを踏まえた効果的な運営
	（２）身近に運動・スポーツができる場の確保・提供	① 学校施設の開放
		② 公共空間の有効活用
３　スポーツを推進する人材の育成	（１）スポーツ活動を「ささえる」人材の育成支援	① スポーツ指導者の育成・資質向上
		② スポーツを「ささえる」活動の推進
４　情報提供・発信の充実	（１）スポーツに関するニーズの把握	① スポーツに関する区民ニーズの把握
	（２）スポーツに関する情報提供の充実	① 多様なスポーツ関連情報の発信
５　スポーツが持つ力の地域への活用	（１）スポーツ関係団体との連携・活動支援	① スポーツ関係団体との協力・連携
		② スポーツ活動を行う団体への継続的な活動支援
	（２）地域スポーツクラブの設立及び活動支援	① 地域スポーツクラブの活動支援
		② 地域スポーツクラブの設立支援
	（３）民間事業者等との連携	① 民間のノウハウを活用したスポーツ事業の推進

【国の動向、社会情勢の変化の視点からみえる課題と方向性】

○ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の考え方に基づくデジタル技術の活用
○国の第４期スポーツ基本計画（令和８年度策定予定）と都の東京都スポーツ推進総合計画（令和７年度策定）を踏まえたビジョンの改定
○ウェルビーイングとの関係性を踏まえたスポーツのあり方
○国において示された３つの新たな視点（「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」）

【ビジョン改定における課題と方向性】

○ライフステージに着目したスポーツ施策の検討（ライフステージを見通した取組、こども、子育て・働き盛り世代（20～50代））
○人生100年時代の到来により、ライフステージごとに取り組むのではなく、生涯にわたって健康にスポーツが継続できるように、各ライフステージが連続・連携した取組が必要
○アンケートより、中央区の小・中学生のスポーツ実施率は上昇傾向。しかし全国的にこどもの体力・運動能力や運動時間はコロナ前の水準に届いていないことが課題
○アンケートより、スポーツ実施率は上昇傾向がみられる一方、30～40代はスポーツを行った日数が少なく、スポーツ習慣の定着が課題
○令和５年の65歳健康寿命（要介護２）は、男性が特別区で５位（83.48歳）、女性は11位（86.01歳）と特別区の中で上位である。また、中央区の高齢化率は特別区で最も低いものの、高齢者人口は着実に増加しつつあり、高齢者数の増加に比例して、健康寿命のさらなる延伸に向けたスポーツ活動の推進が重要
○全国的に、障害のある人のスポーツ実施率は成人のスポーツ実施率よりも大幅に下回っており、スポーツ活動の機会や場所の確保が課題

【ビジョン改定における課題と方向性】

○国の第４期計画においてスポーツを通じた「ウェルビーイングの実現」の視点が明記
○アンケートより、若年層で情報を入手できていない傾向がみられる。運動やスポーツに関する多様な情報発信を行うことが重要

【ビジョン改定における課題と方向性】

○人口増加が続く中央区においてスポーツができる場の確保は喫緊の課題。アンケートでもスポーツ施設の整備・充実が求められている
○水上スポーツやアーバンスポーツといった多様なスポーツへの関心の高まりを受けて、水辺に恵まれた環境等を生かしたスポーツ活動の推進、環境整備の検討が必要

【ビジョン改定における課題と方向性】

○スポーツ関係団体における、指導者の高齢化等を背景とした後継者不足が課題
○全国的にハラスメントに関する相談件数が多発。スポーツ関係者によるコンプライアンス違反、暴力等の根絶に向けた取組が必要

【ビジョン改定における課題と方向性】

○地域の関係団体、民間事業者等との連携・協働により、区民のスポーツ活動の充実や場の確保を図ることが重要
○国では総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の普及に注力
○中央区の特性を踏まえた部活動への支援についての検討が必要

【次期ビジョン】中央区スポーツ推進ビジョン

期間：令和９年度（2027年度）～令和18年度（2036年度）

基本理念（めざす姿）　誰もがスポーツを通じて、ウェルビーイングを高め、人と地域が輝くまち

基本目標	施策	想定される取組（例）
１　ライフステージ等に応じたスポーツを楽しむ機会の充実	（１）子どものスポーツ活動の推進	スポーツ教室や大会・イベント等の開催、幼児期からの運動習慣づくり、学校での健康づくり等の充実、学校部活動の活性化
	（２）子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進	スポーツ教室や大会・イベント等の開催、健康づくり等の推進、スポーツ活動への参加促進（身近な場所で手軽に取り組める活動の啓発、場所の確保等）、職場における運動環境整備、企業への啓発
	（３）高齢者のスポーツ活動の推進	スポーツ・健康教室の開催（地域とのつながりの形成等）、運動の普及・啓発、利用しやすいスポーツ環境づくり、フレイル予防
	（４）障害者のスポーツ活動の推進	障害のある人のスポーツ活動の推進（きっかけづくり、環境づくり）、障害のある人とない人がともに楽しめるパラスポーツの普及・啓発、スポーツ活動の機会の提供、パラスポーツを支える人材育成
２　スポーツを通したつながりの推進	（１）スポーツを楽しむきっかけづくり	多様なスポーツを通じた交流機会の充実、スポーツイベントの開催、レガシーの継承、スポーツ観戦機会の提供、デジタル技術の活用
	（２）スポーツに関する情報提供・発信の充実	スポーツ関連情報の発信、区民ニーズの把握
３　スポーツができる場の確保・整備	（１）スポーツ施設の整備・充実	施設の整備・拡充、区民のニーズを踏まえた効果的な運営、スポーツにおける安全・安心の確保（熱中症対策の強化、ガイドライン強化等）
	（２）身近に運動・スポーツができる場の確保・提供	学校施設の開放、公共空間の有効活用（アーバンスポーツ等）、水辺環境の活用（水上スポーツ）
４　スポーツを推進する人材の育成	（１）スポーツ指導者の育成・資質向上	指導者の育成・資質向上、スポーツにおける安全・安心の確保（コンプライアンス意識の向上等）
	（２）スポーツボランティアの育成	スポーツを「ささえる」活動の推進
５　地域と連携したスポーツの推進	（１）スポーツ関係団体との連携・活動支援	関係団体との協力・連携、団体への継続的な活動支援
	（２）地域スポーツクラブ等の活動支援	地域スポーツクラブの活動支援、連携・協働、部活動への支援
	（３）民間事業者等の活用と連携	民間事業者のノウハウを活用した事業の推進、参画しやすい仕組みづくり、民間事業者を活用したスポーツ活動の拡大（eスポーツ等）